

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		相好トランポリンクラブ・児童福祉センター四日市			公表日	R7年 2月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・大きな体育館を完備し、プレイルームも十分な広さを確保している	・広さを活かせるよう、場面に応じて環境設定を工夫していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・有事の際にフォローできる人数は配置	・指導員の増員に向けて動いています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・トイレ：ドアの色でわかりやすく ・出入口にはスロープを配置	・体育館内：安全に活動できるよう、運動器具の配置や環境設定を行います
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・こまめに清掃を行っている ・遊びたい活動ができるスペースを確保 ・学習スペースを配置	・引き続き、清掃・環境整備に努めます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個別対応の前例有り（物が少なく視覚的にも落ち着きやすい環境）	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・適宜、資料の回覧や打ち合わせを行っている	・個々に応じた目標設定、支援の振り返りに努めます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・毎年行い、結果を踏まえて改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年2回 管理者との面談有り	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・第三者による外部評価は行ってない	・必要に応じて検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・月1回の社内研修 ・事業所内研修 ・外部開催の研修	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HPIに公表、事業所の強みを活かしたプログラム	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・アセスメントやヒアリング、記録をもとに作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく、指導員を含めた意見交換の場を持って作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・＜原案確認→会議＞に指導員と児童発達支援管理責任者が参加している ・個別に対応が必要な子は別途情報共有している	・計画を基にした支援内容についても、指導員間で目線合わせを行います
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・アセスメントやヒアリング、行動観察の他に、他所で行った知能検査や発達検査の結果も確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインに基づいて作成、支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・児童発達支援管理責任者が主になって立案し、詳細を担当指導員と話し合いを行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・週ごとに内容を変更している ・季節に応じた内容も取り入れている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・その日の子供達の特性を踏まえ、個別での製作や運動、集団でのSSTや運動レクを組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・班分けやサポート担当などについて打ち合わせをしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・気づいた点、良かった点を共有し、次回に活かしている	・振り返り、情報共有の質の向上に努めます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・指導員が記録を作成、児童発達支援管理責任者が確認→疑問点や改善点について目線合わせを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・担当指導員と児童発達支援管理責任者を主に、モニタリング・見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・課題やニーズに合わせて複数を組み合わせている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・選択したり考えを述べたりする機会を設けている ・特にトランポリン活動では本人が主となって活動や方法を選択する場面を多くしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・担当指導員と情報共有し、児童発達支援管理責任者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・必要に応じて連携できる体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・基本的には保護者を通して情報共有、連絡をし、必要に応じて直接学校との連絡を取っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・相談支援事業所を通じての情報共有 ・必要に応じて直接連絡を取っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・前例無し、提供する体制は整えている（該当者に声掛けを行っている）	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・児童発達支援センターからの訪問や見学、助言を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・個に応じて法人の体操クラブが主催する大会に参加する機会を設けている	・ご要望や状況に応じて、他も検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	・参加の前例無し	・地域の関係機関との連携を大切にしていきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に様子について話す機会を持っている ・指導記録にて支援中の記録をお伝えしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	・実施無し ・面談等にて家庭での関わり方（手立て・運動）お伝えしている	・要望に応じて検討していきます（ペアレントトレーニング・親子プログラムなど）
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明している	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・アンケートや聞き取りにて意向を確認し、計画に反映している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・面談にて説明、意向をお聞きし、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・都度、相談に応じている ・面談の場でお話を伺っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	・実施無し	・ご要望や状況に応じて、他も検討していきます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・速やかな対応（改善・周知含）に努めている	・ご要望や苦情を申し入れやすい関係づくりに努めます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・定期的な手紙の発信やHUGシステムを使って発信している	・時間変更やお知らせなど、周知できていないケースもあるので、都度方法を見直していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・書類等の管理は鍵付きのロッカーを使用している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・必要に応じて絵カードや写真、サインを用いている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・行事への招待等はなし	・地域の方々にもご協力頂ける関係作りを目指します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルを整備し、研修・避難訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPを策定、研修・訓練を行っている	・定期的な見直し、研修、訓練を引き続き行います
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時や発症後に確認	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・必要に応じて指示書の共有をし、対応について保護者と確認をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を策定、研修・訓練を実施	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・HPIにて安全計画を公表 ・訓練についての様子を共有	・子どもが速やかに安全確保できるよう、訓練、見直しを行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・事案が発生した際は、直ちに管理者に報告、職員で共有している ・報告書の作成→共有→保管を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・事業所内研修、法人内の研修にて機会を設けている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・前例無し ・同意書の作成、説明を行っている		